

## 第1学年国語科学習指導案

日 時 平成22年10月15日（金）2校時  
場 所 佐賀市立大和中学校1年1組教室  
対 象 大和中学校1年1組  
指導者 佐賀県教育センター所員 牟田 和恵

単元名 相手や目的に応じて書こう  
教材名 「分かりやすく書こう」（東京書籍 中学校1年）  
「ハチドリの不思議」（東京書籍 中学校1年）

### 講座授業について

新学習指導要領の改訂のポイントから、①言語活動を位置付けた単元構想、②学習過程の明確化、③系統性の重視の三点を意識した授業づくりを行った。表現力の育成を目指して「書くこと」領域で授業を構想し、新学習指導要領で新設された「交流」を学習過程に取り入れている。

## 1 単元について

### (1) 生徒観

佐賀県の生徒の実態として、平成21年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果から、「読むこと」、「書くこと」、「言語事項」の2領域1事項に課題が見られた。特に「書くこと」では、目的や意図に応じて、必要な情報を選択したり整理したりして書くこと、目的や意図に応じて、伝えたい事柄が相手に明確に伝わるように書くことに課題がある。そのため、年間指導計画の立案や単元構想に当たっては、この課題の克服を常に念頭において考える必要がある。

本学級の生徒は、小学校で目的や意図に応じて詳しく書いたり簡単に書いたりすることや相手や目的を考えて必要な事柄を整理して書くことを学んできている。しかし、相手や目的に応じて、書く形式を適切に選択したり、表現の工夫をしたりする経験に乏しいため、学んだことを生かして書くことはできていない。また、事前の意識調査から、「情報を整理して書くこと」や「構成を工夫して書くこと」、「相手や目的、場面に応じて書くこと」に苦手意識をもっていることが分かった。生徒がもつ課題を克服するためには、相手や目的、場面を設定し、それに応じた形式で書くという言語活動を行うことが有効だと考えられる。

### (2) 教材観

本単元では、まず、相手や目的に応じた形式について学ばせる。その上で、必要な情報を選択して効果的に書くことを経験させるために、教科書教材の内容をリーフレットにまとめる言語活動を単元に位置付ける。

「分かりやすく書こう」は、観察したことなどの事実を正確に記録したり説明したりするといった、書くことの基本的な技能を押さえ、その定着を図ることを目的とした教材である。1年生では、特に、相手や目的、場面などに応じて、伝えるべき内容を明確に整理していくことを理解させることが重要である。本単元では、相手や目的、場面に合った形式について気付かせるという視点で本教材を利用し、伝えたいことを相手に明確に伝えるための表現の工夫についても学ばせたい。

「ハチドリの不思議」は、11の形式段落で構成されている。そして、三つの中心的な問いかけがなされており、個々の問いに続けてその答えを述べるという形で論が展開されていて、因果関係が分かりやすい。また、接続語や指示語を効果的に用いてあり、文のつながりを把握するのに適している。このようなことから、この教材は、書かれている情報を整理する活動を行うことに適しており、相手や目的に応じて表現し、情報を伝達する文章を書く際の自分の表現の参考にもできる教材だといえる。これらの二つの教材の特徴を生かして単元構成を行う。

### (3) 指導観

指導に当たっては、図表などを用いた説明や記録の文章を書く言語活動（「書くこと」(2)イ）として、内容紹介のリーフレットを作成する活動を取り入れる。導入の段階では、身近にあるポスターやパンフレット、リーフレット等を比較させることで、相手や目的に応じた形式や表現の工夫について学ばせる。次に、小学6年生を相手とし、教科書教材の内容を分かりやすく紹介することを目的として設定して、実際にリーフレットの作成を行わせる。リーフレットは、広告、紹介、解説等に使用する一枚あるいは折りたたみ式の印刷物であるが、情報伝達の手段として、他教科の学習や総合的な学習の時間、学級活動等での活用も考えられる形式である。実際の作成過程において、「目的に応じて必要な情報を集め、整理すること」、「相手や目的、場面に応じて構成や表現を工夫して書くこと」を経験させ、生徒の「書くこと」の課題の解決を目指したい。

## 2 単元の指導目標

- (1) 目的に応じて必要な情報を集め、整理することができるようにする。
- (2) 相手や目的、場面に応じて構成や表現を工夫させ、伝えたいことが明確に伝わるように書くことができるようにする。

## 3 単元の評価規準

ア 国語への関心 ・意欲・態度	イ 書く能力	ウ 言語についての 知識・理解・技能
内容紹介用のリーフレットを作成する言語活動を通じた指導〔B書くこと(2)イ〕		
1 リーフレットの形式を整えて、小学生にも内容が分かりやすく伝わるリーフレットを書こうとしている。	1 集めた情報を目的に応じて整理し、構成を考えて書いている。〔B書くこと(1)イ〕  2 相手や目的、場面に応じたまとめ方や表現を意識して、分かりやすい文章にすることができる。〔B書くこと(1)エ〕	1 指示語や接続語及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して書いている。〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(エ)〕

## 4 指導と評価の計画（全8時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価の方法	
一	1	1 相手に伝えたいことを分かりやすく書くための方法と、そのために必要な力について考える。	○「分かりやすく書こう」を読み、提示されている形式や書き方の工夫を、目的や相手別にワークシートに整理させる。 ○事前に行った書く力に関するアンケートの結果を提示し、身に付けたい力について考えるように促す。	アー1 【ノートの記述】 【ワークシート①の記述】	
		2 人に情報を伝えるために書かれた様々な形式の資料を読み比べて、それぞれの形式の特徴に気付く。	○身近にあるレポートやポスター、パンフレットやリーフレット等を比較させ、その違いに気付かせる。		
	2	3 相手や目的に合った形式に書き換える方法を知る。	○相手や目的の違いに応じて書かれた資料をモデルとして提示する。	アー1 【ワークシートの記述】	
	4 学習目標を設定し、学習計画を立てる。	○学習の流れを生徒が把握できるように配慮する。			
二	3	5 「ハチドリ不思議」の全文を通読し、何がどのように説明されているか把握する。	○筆者の説明の仕方の特徴に着目させる。	イー1、ウー1 【ワークシートの記述】	
		6 問題提起と答えに着目して情報を整理する。	○問いと答えが書かれている部分に着目して、何がどのように説明されているか整理させる。		
	4	7 必要な情報を収集し、整理、編集する。	○ワークシートを用いて、紹介する内容についての情報を整理、編集させる。		イー1 【ワークシートの記述】
	8 目的を確認し、その目的に合ったリーフレットの形を考える。	○導入時を想起させ、目的に応じたレイアウトを考えさせる。			

	5	9 リーフレットに載せる情報を選択し、目的に合うような書き方にまとめる。	○事前に整理しておいた情報を、レイアウトに合わせた文章の長さや内容に書き換えさせる。	イー1, ウー1 【選んだ情報, ワークシートの記述, 作品の分析】
		10 相手に応じた言葉遣いや表現の工夫を意識して、リーフレットを作成する。	○生徒用手引きや補助資料を活用させて、相手や目的に応じた工夫をさせる。	
	6	11 読み手に情報を分かりやすく伝えるための工夫を意識して、リーフレットを完成する。	○伝えたいことを明確にして、読み手に効果的に伝わる表現の工夫をさせる。	イー2 【評価表の記述】 【作品の分析】
三 本 時	7	12 完成したリーフレットをグループで読み合い、評価し合う。	○評価表の観点に従って相互評価をさせる。	イー2 【評価表の記述】
	8	13 他のグループのリーフレットを評価する。	○他のリーフレットを見て、よいところや参考になるところに気付かせる。	アー1, イー2 【作品の分析, 評価表, 学習計画表の記述】
		14 自分のリーフレットを加筆修正する。	○自分のリーフレットに対する評価や意見、自分が気付いた他のリーフレットの書き方のよい点を参考に書き直させる。	
		15 学習のまとめをする。	○学んだことを確認させ、他に生かせる場面を考えさせる。	

5 本時（7／8時）の指導計画

(1) 指導目標

- ・グループ発表会で、相互評価を通して、まとめ方や表現の工夫に気付かせる。

(2) 展 開

	学 習 活 動	教 材 資 料	指 導 上 の 留 意 点	評 価 規 準 と 評 価 方 法
導 入	1 学習計画表を確認し、 本時の目標を知る。		○学習計画表を見て、授業 の流れを確認させる。	
グループ発表会で紹介し合い、お互いに評価し合おう				
展 開	2 グループ発表会の進 め方について確認する。  3 グループ内で作成し たリーフレットを紹介 し合い、相手や目的に応 じたまとめ方や表現の 工夫ができているか、互 いに評価する。 ・評価表を活用して次 の手順で評価を行う。 〔手順〕 ①紹介（工夫した点） ②相互評価 ・紹介を聞いた後、評 価の観点に従って評 価する。 ・よい点とアドバイ スを文章で評価表に 記入する。 ③自己評価 ・他者の評価を確認し た後、改善点を中心 に評価表に記入す る。 ④評価のまとめ ・学級全体に紹介す るために、グループか ら一点ずつ学習の 参考になるリーフ レットを選ぶ。	リーフ レット 評価表  リーフ レット 評価表	○グループ全員が自分が 作成したリーフレット を紹介し、お互いに評価 し合うことを知らせる。  ○他のリーフレットを評 価することを通して、目 的や相手に応じた様々 なまとめ方や表現の工 夫の多様さに気付くよ う助言する。 ○リーフレットを比較す ることで、自分のまとめ 方や表現の工夫のよい 点や改善点に気付くよ う助言する。 ○評価の書き方の例を示 すなどして、気付いたこ とをできるだけ具体的 に書くように指示する。  ○それぞれの評価につい ての考えを交流するた めに、グループ内で最も よいと思われるリーフ レットを選び、なぜよい か、参考にすべき点はど こかを話し合うように 指示する。	イー2 相手や目的に応じた まとめ方や表現を意識す ることができている。 【評価表の記述】  評価表に示している評価の 観点に従って評価するこ とを助言する。
ま と め	4 本時の学習を振り返 る。 5 次時の見通しをもつ。	学習 計画表	○本時の学習内容を振り 返らせ、学習計画表に記 入させる。 ○次時は自分が作成した リーフレットに加筆修 正を行い、本単元の学習 の振り返りをするこ とを知らせる。	



# 学習計画表「相手や目的に応じて書く」

一年（ ）組（ ）号（ ）

☆本単元の目標 「相手や目的に応じた書き方で伝えたいことが明確に伝わるように書く。」

時間	日時	活動	学習内容	自己評価	
			1 これから学習について関心や意欲をもつ。 見通しをもつ ・人に情報を伝えるためのさまざまな形式の特徴を知る。 ・学習の見通しをもつ。	自己評価 A・B・C	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>自分なりに考え、工夫して活動に取り組むことができた…A 主な学習内容を理解し、活動に取り組むことができた…B できない活動や理解できなかったことがあった…C</p> </div> <p>○この学習を通して、あなたが身に付けたい力を書いておこう。</p>
			2 書く ・相手や目的に応じた書き方について考える。 ・リーフレット作成の手順を知る。		
			3 書く 文章を読んで、書かれている内容を紹介用のリーフレットに書きかえる。		
			4 書く		
			5 書く		
			6 書く		
			7 交流 グループ発表会で作品を紹介し合い、相互評価をする。 ・グループで作成したリーフレットを使った意見交流をする。 ・相互評価をする。 ・自分の書いたリーフレットを見直して改善点を考える。		
			8 振り返り 学習全体の振り返りをする。 ・身に付けた力の日常生活での活用場面を考える。 ・振り返り欄の記入をする。		

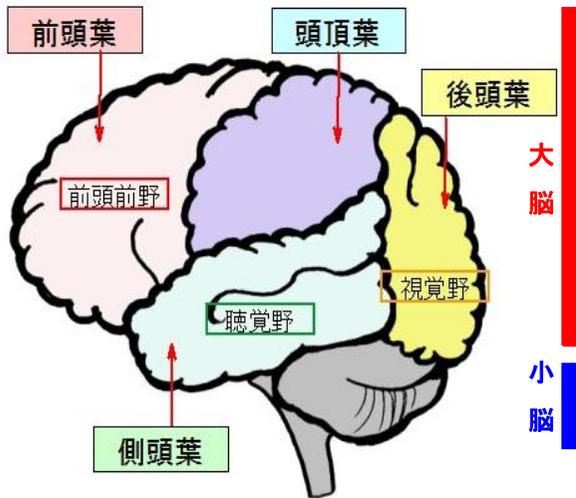
○この学習を通して身に付いた力について

○身に付けた力を活用するとしたら？

学んだこと（学習のまとめや感想）

# 脳の仕組みとはたらきはどうなっているの？

## 脳の各部分の名称と機能



脳は大きくは、**大脳**、**小脳**、**脳幹**からなりたっています。この中で、人間としての特徴をいちばんよく表しているのは**大脳**です。

**大脳**は、**前頭葉**、**頭頂葉**、**側頭葉**、**後頭葉**の四つの部分に分かれています。そして、それぞれがさまざまな機能をもつ領域を含んでいます。

### [主な領域のはたらき]

**前頭前野**…思考活動をする。大脳の司令塔。

**聴覚野**…聞こえた音が何であるかを調べる。

**視覚野**…目にしたものが何であるかを調べる。

## リーフレットモデル①

### 内容紹介リーフレット

～こんな勉強をしています！～

「**脳のはたらき**を目で見てもよろう」について知ろう！

[感想・気付き]

組 番



## リーフレットモデル①

# 脳の仕組みとはたらきはどうなっているの？

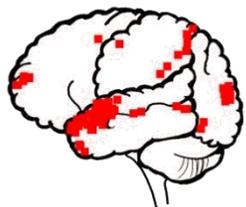
脳のはたらきを目で見ると分かること

**Q1** 脳はどんなときに、どんなふうにはたらいているの？

**A**

脳がはたらいているのを見るときには、脳に流れる血液の量の変化を見ます。「脳がはたらく」とは、神経細胞が活発にはたらくことです。神経細胞の近くの血管の中を流れる血液の量が多くなっている状態を、「脳が活性化している（＝脳がはたらく）」と表現します。

脳はこんなときにこんなふうには活性化している！



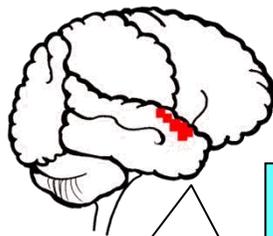
聴覚野や、ウェルニッケ野がはたらいています。前頭前野も活発にはたらいています。

日本語を聞いているとき



日本語を音読しているとき

視覚野、前頭前野がはたらいています。また、声に出して読み、それを聞いて理解しているため、聴覚野とウェルニッケ野がはたらいています。



クラシック音楽を聞いているとき

目を閉じて音楽を聞いているときの脳は、聴覚野のみが活性化しています。

**Q2**

音読することが脳を一番活性化するのはなぜ？

**A**

音読は、目で見えた文字を口から出し、さらに出した音声を自分の耳で聞くため、**文字言語のシステムと音声言語のシステムの両方を同時に使う**こととなります。音読が脳を活性化するのは、このためだと考えられます。

**文字言語**

**言葉を字で伝えるもの**

目で見ることによって**視覚野**から脳に入り、書くことで手を動かす命令をする**運動野**を通して外に出て行きます。

**音声言語**

**言葉を音で伝えるもの**

耳で聞くことで**聴覚野**から脳に入り、話すことで口を動かす命令をする**運動野**を通して外に出て行きます。

**Q3**

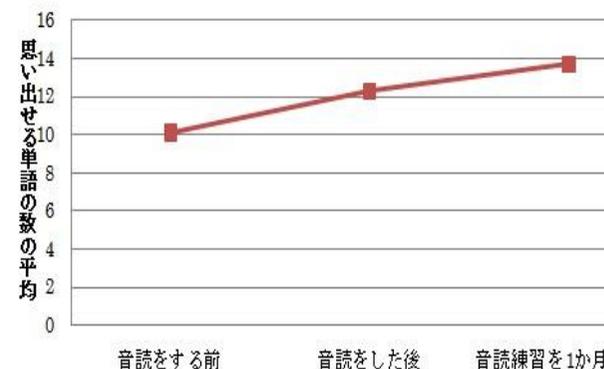
脳を活性化すると、どのような効果があるの？

**A**

脳を活性化することには、**脳の準備運動と脳を鍛える**という二つの効果があります。

音読と記憶力の関係を調べると…

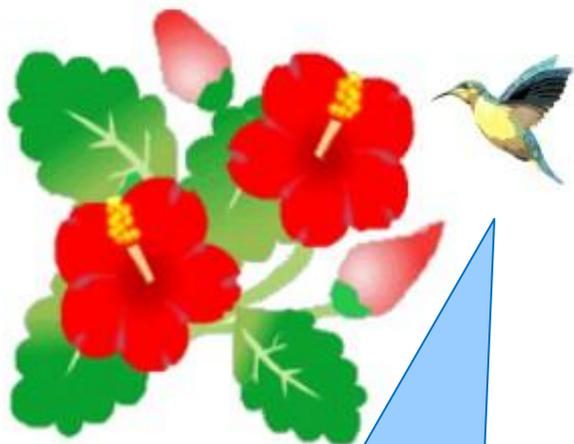
記憶力の変化



音読をした後に記憶力のテストをすると、記憶力が二、三割上がり、音読を毎日継続すると、一ヶ月後には記憶力が三割上がっています。

# ハチドリが不思議ってどう いうことだろう？

ハチドリとは…



- 鳥のうちでいちばん小さく、体の長さがわずか3センチという種類もいます。
- 小さな巣を作って、豆粒ぐらいの卵を産みます。
- 花のみつを食物にしています。

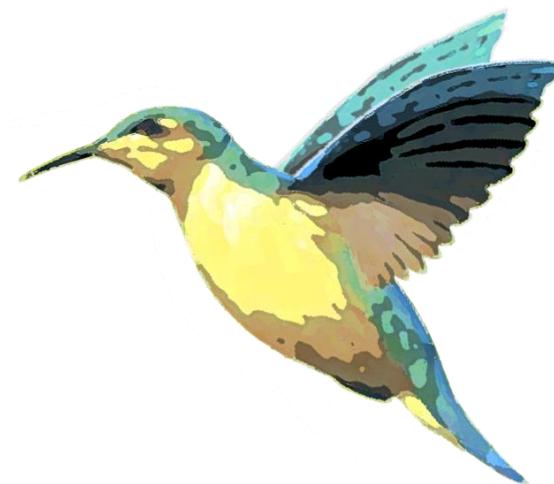
[感想・気付き]

組	番

内容紹介リーフレット

～こんな勉強をしています！～

「ハチドリの不思議」  
について知ろう！



# ハチドリが不思議ってどういうことだろう？

ハチドリの生活の様子から見てみると…

Q1

ハチドリが生きていること  
自体が不思議なのはなぜ？

A1

こんな小さな鳥が生きていられる  
はずがないからです。

ハチドリは、体温を保つのに必要な熱を発生する体の大きさのわりに、熱が逃げていく表面が大きすぎるので、ずっと熱をおぎなっていないではなりません。だから、食物を食べるのをやめたら、すぐに体温が低下して凍死してしまうのです。ハチドリも夜は眠らなくてはなりません。夜の間12時間近くも食べ物を食べなかったら、きっと体温が下がって凍死してしまうはずですよ。



自転車はこぐのをやめたら  
倒れてしまう。

会社は収入が絶たれたら  
倒産してしまう。

ハチドリは  
自転車操業？！

ハチドリは食べるのをやめ  
たら凍死してしまう。

ハチドリはギリギリで  
生きている！

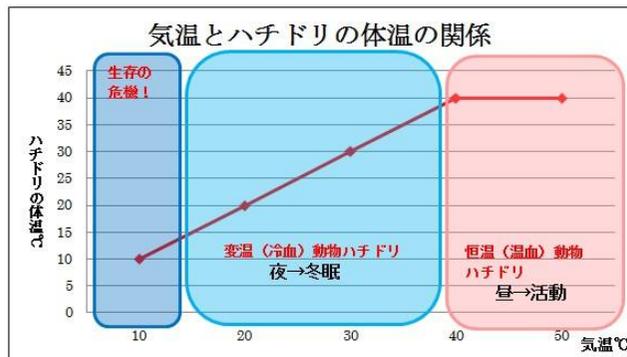
Q2

ハチドリが長い年月にわたってちゃんと生きているのはなぜ？

A2

ハチドリが毎晩冬眠に入るからです。

ハチドリは、夜が来ると、温血動物（恒温動物）であることをやめて、昆虫や虫類と同じ冷血動物（変温動物）になります。やがて朝が来て気温がどんどん上がり始めると、ハチドリの体温もそれにつれて上がっていきます。そして、体温が一定の値を超すと、ハチドリは目覚め、恒温動物となって、花のみつを求めて飛び立つのです。ハチドリは、この能力を遺伝的に身に付けたのでしょう。



Q3

ハチドリは、夏の夜が暑い東京や大阪なら生きていけるだろうか？

A3

いいえ、生きてはいけません。

夜も暑かったり、冬があつたり、雨が長く降り続いたり土地では、ハチドリは死んでしまいます。だから、ハチドリは中南米の一部にしかすんでいないのです。もし、中南米の気候が変わってしまったら、ハチドリは滅びてしまいます。それは、ハチドリが持つて生まれた遺伝的仕組みと環境とが合わなくなってしまうからです。

筆者の言いたいことを代わりに言うと…

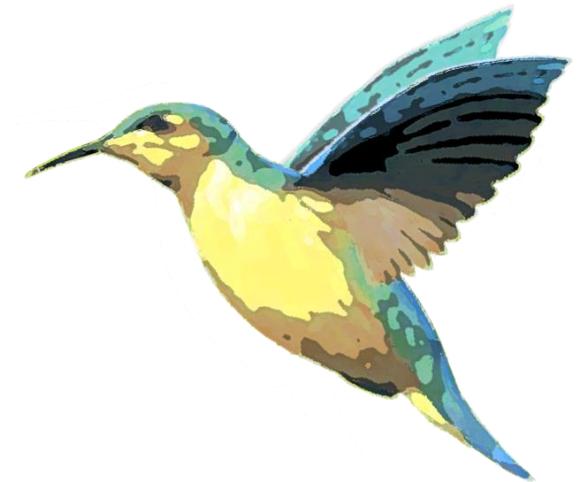
ハチドリが生きるためにはいろいろな条件があつて、それがそろって初めて生きていけるのです。自然や環境についても興味を持って考えて下さいね！

**内容紹介リーフレット**

～こんな勉強をしています！～

**「ハチドリ不思議」  
について知ろう！**

〔感想・気付き〕



組	番

# 評価表「相手や目的に応じて書く」

学習日 月 日

一年( )組( )号( )

○「リーフレット」を読み合って、お互いに評価しよう。(グループで)

## 評価の観点

ア	内容紹介に必要な情報が、小学生に分かりやすい言葉で短くまとめて書いている。
イ	書かれている内容が分かるように、キャッチコピーや見出しが効果的に使われている。
ウ	小学生に伝えたい内容がよく分かるように、構成や表現が工夫されている。
エ	図表やイラストなど相手に分かりやすく伝えるための工夫がされている。

## 1 グループで評価をしよう。

氏名	評価の観点				「リーフレット」のよいところ	アドバイス
	ア	イ	ウ	エ		
自分					例：適切な情報が短くまとめて書かれていて分かりやすい。	例：読む人の興味を引くようなキャッチコピーを考えるといい。 ※もう少しがんばりたいところ
評価した人					ふせんピンク	ふせん青
評価した人					ふせんピンク	ふせん青
評価した人					ふせんピンク	ふせん青

2 友達のリーフレットを見て、自分のリーフレットに生かしたいと思ったところをまとめよう。

3 自分のリーフレットの修正点を具体的に書こう。

# 教師用補助資料① 「評価表の使い方」

## 評価の手順

- ① 書き上げたリーフレットを自己評価して、評価表に記入させる。
- ② 工夫した点を中心に、リーフレットを紹介し合わせる。
- ③ 友達のリーフレットを、評価の観点に照らし合わせて評価させる。
- ④ 友達のリーフレットのよいところをピンクの付せん紙に書かせ、アドバイスを青のふせん紙に書かせて本人に渡させる。
- ⑤ 友達のリーフレットを見て、自分のリーフレットに生かしたいと思ったところを評価表に記入させる。
- ⑥ 友達からもらった評価を参考にさせ、自分のリーフレットの改善点を評価表に記入させる。



## 記入の仕方

評価表「相手や目的に応じて書け」

学年 月 日

○「リーフレット」を話し合おう。(1年) (組) (号)

○「リーフレット」をお互いに評価しよう。(グループ)

ア 内容紹介に必要な情報があり、小学生に分かりやすい言葉で短くまとめて書かれている。

イ 書かれている内容が分かるように、キャッチコピーや見出しが効果的に使われている。

ウ 小学生に伝えたい内容がよく分かるように、構成や表現が工夫されている。

エ 図表やイラストなど相手に分かりやすく伝えるための工夫がされている。

氏名	評価の観点	評価	記入
ア	内容紹介に必要な情報があり、小学生に分かりやすい言葉で短くまとめて書かれている。	○	
イ	書かれている内容が分かるように、キャッチコピーや見出しが効果的に使われている。	○	
ウ	小学生に伝えたい内容がよく分かるように、構成や表現が工夫されている。	○	
エ	図表やイラストなど相手に分かりやすく伝えるための工夫がされている。	○	

グループで評価しよう。

「リーフレット」のよいところ、何、悪いところを具体的に書いてください。

※ふせん紙は必ずこのように記入してください。

① 評価の観点に照らし合わせて、できていると判断した項目に○を記入する。その後、特に工夫したところでもう少しがんばりたいところを文章で記入する。

教師が総括的に評価する際には、同じ手順で○を付け、すべての項目に○が付いたらA、2つ以上○が付いたらB、○の付く項目がない場合はCと評価する。

③ 評価の観点に照らし合わせて、できていると判断した項目に○を記入する。

④ 特に工夫されているところにピンクのふせん紙に、アドバイスを青のふせん紙に記入して本人に渡す。

記入後のイメージ

氏名	評価の観点	評価	記入
ア	内容紹介に必要な情報があり、小学生に分かりやすい言葉で短くまとめて書かれている。	○	
イ	書かれている内容が分かるように、キャッチコピーや見出しが効果的に使われている。	○	
ウ	小学生に伝えたい内容がよく分かるように、構成や表現が工夫されている。	○	
エ	図表やイラストなど相手に分かりやすく伝えるための工夫がされている。	○	

もらったふせんは評価表にはる。

⑤ 友達のリーフレットを見て、参考になるところを書き出す。

⑥ 自分のリーフレットの修正点をまとめる。